

調査票

(調査事項のみ収録)

貯蓄と消費に関する世論調査(平成7年)

問1 お宅の家計では、④過去1年間に手取り収入(税引後)の何%(%未満は四捨五入)ぐらいを貯蓄^①しましたか。

また、⑤年間手取り収入のうちボーナスや臨時収入(税引後)からは何%(%未満は四捨五入)ぐらいを貯蓄しましたか(商・工業や農・林・漁業等事業のための貯蓄や、給与振込、口座振替など一時的にしか口座にとどまらないような預貯金は含めないでお答えください。以下の質問についても同様です)。

該当する番号に○印をつけてお答えください。

(注) この調査でいう貯蓄とは金融資産(問3に記載の貯蓄商品)であり、土地・住宅等の実物資産は含みません。

(記入例)

例えば、年間手取り収入100万円のうち
 ・5万円を貯蓄した場合 → %
 ・12万5千円を貯蓄した場合 → %
 とご記入ください(%未満は四捨五入)。

- ④
1. 年間手取り収入の % ぐらいを貯蓄した。
 2. 年間手取り収入から貯蓄を全くしなかった。

- ⑤
1. ボーナスや臨時収入の % ぐらいを貯蓄した。
 2. ボーナスや臨時収入から貯蓄を全くしなかった。
 3. ボーナスや臨時収入がなかった。

問2 お宅の家計では、現在、貯蓄を保有していますか。(○は1つ)

1. 貯蓄を保有している。 →
 続けて問3の④、⑤にお答えください。
2. 貯蓄を保有していない。 →
 続けて問3の⑥にお答えください。

問3 お宅の家計では、⑥現在の貯蓄商品別残高(手持ち現金を除く)およびその合計額はどのくらいですか。また、⑥今後1年間に貯蓄を増やしていく場合、どのような貯蓄商品にどのくらいの割合(貯蓄の年間増加額に占める割合)で貯蓄しますか。それぞれについて右表の⑥、⑦欄に数値をご記入ください。

貯蓄商品	⑥現在の貯蓄残高					⑦今後貯蓄を増やしていく場合の商品別構成比	
	億	千万	百万	十万	万円		%
1 預貯金(郵便貯金は除く)							
うち定期性預金(期間の定めのある預金)						—	—
2 郵便貯金							
うち定期性貯金(定額貯金、積立貯金等 期間の定めのある貯金)						—	—
うち定額貯金						—	—
3 金銭信託・貸付信託(ヒッグを含む)							
4 生命保険・簡易保険 (これまでに払い込んだ保険料の総額。ただし、掛け捨ての保険、年金型商品は除く。)							
うち一時払型養老保険						—	—
5 損害保険 (これまでに払い込んだ保険料の総額。ただし、掛け捨ての保険、年金型商品は除く。)							
6 個人年金信託・個人年金保険・年金払積立傷害保険・簡易保険(年金払い) (これまでに積み立てた掛け金の総額。厚生年金、国民年金、公務員共済など公的年金の掛け金は除く。)							
7 債券(国債、地方債、金融債<ワイドを含む>、社債<転換社債を含む>等) (時価<現在の相場>でお答えください。ご不明なら額面でお答えください。)							
8 株式(従業員持株制度による株式を含む) (時価<現在の相場>でお答えください。)							
9 投資信託(株式投信、公社債投信、MMF、中国ファンド等) (時価<現在の相場>でお答えください。ご不明なら額面でお答えください。)							
10 財形貯蓄 (一般財形、年金財形、住宅財形の合計額)							
11 その他金融商品 (国債組合わせ商品、抵当証券、金貯蓄口座等)							
合計(1~11の総計)	億	千万	百万	十万	万円		%
							100

問4 お宅では貯蓄する商品を決める場合に、どのようなことに最も重点をおいて選びますか。(〇は1つ)

1. 利回りがよく、得だから。
2. 将来の値上がり期待できるから。
3. 元本が保証されているから。
4. 取扱金融機関が信用できて安心だから。
5. 現金に換えやすいから。
6. 少額でも預け入れや引き出しが自由にできるから。
7. その他

問5 お宅の家計では、②現在の貯蓄残高についてどのような評価をされていますか。

また、①その評価のもとで今後の貯蓄方針についてどのようにお考えですか。(〇はそれぞれ1つ)

- ①
- | | | |
|------------|-----|--|
| 1. 十分である。 | → ① | <ol style="list-style-type: none"> 1. 貯蓄残高を増やす。 2. 現在の貯蓄残高を維持する。 3. 貯蓄残高を減らす。 |
| 2. 不十分である。 | → ② | <ol style="list-style-type: none"> 1. 貯蓄残高を増やす。 2. 現在の貯蓄残高を維持する。 3. 貯蓄残高を減らす。 |

問6 お宅の家計の現在の貯蓄残高は1年前と比べて増えましたか、あるいは減りましたか。(〇は1つ)

1. 非常に増えた。
2. 若干増えた。
3. 変わらない。
4. 若干減った。
5. 非常に減った。

→ 続けて問7にもお答えください。

→ 問9にお進みください。

→ 続けて問8にもお答えください。

問7 問6で、「1. 非常に増えた」、「2. 若干増えた」に〇印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1. 勤労所得が増加したから。
2. 勤労所得から貯蓄する割合を引き上げたから。
3. 配当や金利収入があったから。
4. 土地・住宅等の実資産の売却による収入があったから。
5. 相続、退職金等による臨時収入があったから。
6. 株式、債券価格の上昇によりこれらの評価額が増加したから。
7. その他

問8 問6で、「4. 若干減った」、「5. 非常に減った」に〇印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1. 手取り収入が減ったので貯蓄を取崩したから。
2. 土地・住宅購入費用の支出があったから。
3. 耐久消費財(自動車、家具、家電等)購入費用の支出があったから。
4. こどもの教育費用、結婚費用の支出があったから。
5. 旅行、レジャー費用の支出があったから。
6. 株式、債券価格の低下によりこれらの評価額が減少したから。
7. その他

問9 お宅では、どのような目的で貯蓄をしていますか。(〇は3つまで)

1. 病気や不時の災害のときに備えるため。
2. こどもの教育資金にあてるため。
3. こどもの結婚資金にあてるため。
4. 住宅(土地を含む)の取得または増改築などの資金にあてるため。
5. 老後の生活資金にあてるため。
6. 耐久消費財(自動車、家具、家電等)の購入資金にあてるため。
7. 旅行、レジャーの資金にあてるため。
8. 納税資金にあてるため。
9. 遺産として子孫に残してやりたいから。
10. とくに目的はないが、貯蓄していれば安心なため。
11. その他

問10 お宅では、現在どのくらいの貯蓄残高を目標にし、その達成時期を何年後と考えていますか。それぞれ下表に数値をご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円
貯蓄目標残高					
貯蓄目標達成予定時期					年後

問11 お宅では、主取引金融機関を決める場合、どのような理由から選びますか。(〇は3つまで)

1. 近所に店舗やATM(現金自動預け払い機)があり便利だから。
2. 店舗網が全国的に展開されているから。
3. 金融商品の品揃えが豊富で選択の幅が広いから。
4. より収益性の高い金融商品を販売しているから。
5. 金融アドバイザーとしての相談窓口が充実しているから。
6. 経営が健全で信用できるから。
7. 勧誘員が熱心で印象が良いから。
8. テレビCM、ポスター、キャラクター商品などの印象が良いから。
9. その他

問12 金融自由化に伴い、貯蓄商品の金利が頻繁に変更されるようになったほか、同じ時期に、同じ商品に預け入れても、金融機関により金利が異なることがあります。

② お宅では、300万円程度のもったったお金を運用しており、その運用期間の満期を迎えたとして、

仮に、ある程度の期間、引き続き運用しようとする場合、どのような考え方で取引金融機関を選びますか。ただし、金融機関の規模、サービスの内容などは差がないものとします。(〇は1つ)

1. 貯蓄商品の金利や経営内容のいかんにかかわらず、取引金融機関を替えるつもりはない。

→ 問13にお進みください。

2. 貯蓄商品の金利や経営内容次第では、取引金融機関を替えることを検討する。

→ 続けて③にもお答えください。

③ 上記2. を選択されたお宅では、どのような条件を重視しますか。(〇は1つ)

1. どちらかという金利差。

→ 続けて④にもお答えください。

2. どちらかという経営内容。

→ 問13にお進みください。

④ 上記1. を選択されたお宅では、金利の差が何%程度あれば、取引金融機関の変更を検討されますか。(〇は1つ)

1. 0.1%程度の差でも預け替える。
2. 0.2%程度の差があれば預け替える。
3. 0.3%程度の差があれば預け替える。
4. 0.4%程度の差があれば預け替える。
5. 0.5%程度の差があれば預け替える。
6. 1%程度の差があれば預け替える。
7. 1.5%程度の差があれば預け替える。
8. 2%程度の差があれば預け替える。

問13 お宅では、金融機関のサービスについて、現在不満に思っていたり、今後改善してほしいと期待しているものがありますか。(〇はいくつでも)

1. 新しい金融商品やサービスの内容を、もっとわかりやすく説明してほしい。
2. 総合的な資金管理についてきめ細かいアドバイスがほしい。
3. 機械化の進展に伴いおろそかになってきている顧客とのコミュニケーションをもっと図ってほしい。
4. 機械に弱い高齢者等が気軽に相談できる専門の相談窓口を設置してほしい。
5. ホームバンキングやホームトレードに関するサービスを充実してほしい。
6. 平日の窓口の営業終了時刻を延長してほしい(例えば現行の3時を5時に変更するなど)。
7. 土・日・祭日にATM(現金自動預け払い機)の機能をフル稼働させるとともに、稼働時間帯も拡大してほしい。
8. 窓口等での待ち時間をもっと短くしてほしい。
9. 景品(ティッシュペーパー、ラップ等)にコストをかけるよりも預金金利や貸出金利の面で顧客に有利なレートサービスをしてほしい。
10. 低利の個人ローン(教育ローン等)を拡充してほしい。
11. 融資にあたっては、担保物件が乏しくても、人物やプロジェクトの質を見極めながら、弾力的に対応してほしい。
12. 金融機関の業務に限らず金融や税金など暮らしに密着した情報を幅広く提供してほしい。
13. 金融機関の経営内容(営業状況、財務内容、収益構造等)をわかりやすく開示してほしい。

問14 お宅では、金融自由化の進展について現在どのようにお考えですか。(〇は2つまで)

1. 金融自由化の進展に伴い、金融資産の選択の幅が広がり、個人にとってメリットが大きい。
2. 個人の金融経済情報の収集能力には限界があるため、金融自由化の進展に伴いかえってリスクが増すことになり、個人にとってあまりメリットはない。
3. 金融自由化の進展に伴い、金融機関の体力によっては合併や破綻が今後増えていくことが予想され、不安である。
4. 金融自由化の進展に伴い、制度の変更や様々な金融商品、サービスが出現しているが、金融商品の内容や仕組みあるいは自由化のプロセスなどがよくわからず、やや戸惑っている。

問15 金融自由化の進展に伴い、いろいろな貯蓄商品が販売されるようになりました。その中には預入時に約束された金利が満期時まで変わらない「固定金利商品」と、預入期間中に金利が見直される「変動金利商品」とがあります。この2タイプの貯蓄商品のうち、預入時の金利や期間がほぼ同じである場合、お宅では、次のどの考え方で選びますか。(〇は1つ)

1. 金利が予め確定しているの、先行きの金融経済情勢には関係なく、固定金利商品を選ぶ。
2. 先行きの金融経済情勢を考えて、金利がさらに低下すると見込まれる場合には固定金利商品を選び、金利が上昇すると見込まれる場合には変動金利商品を選ぶ。
3. 将来の各時点の金利水準を反映した金利が得られるため、金融経済情勢には関係なく、変動金利商品を選ぶ。
4. よくわからないので、ひとに勧められた商品を選ぶ。

問16 お宅の家計(家族全体)の過去1年間の収入・支出それぞれについて、下表の該当する欄に金額をご記入ください。なお、年間手取り収入(税引後)については、さらにその前年の金額もご記入ください。

		億	千万	百万	十万	万円
収入 +	年間手取り収入(税引後) ^㉑ ㉑					
	貯蓄金取崩し額 ㉒					
	新規借入金額 ㉓					
	土地・住宅売却金額 ㉔					
支出 -	年間貯蓄額 ㉕					
	年間借入金返済額 ㉖					
	うち住宅ローン返済額					
	土地・住宅購入費用 ㉗					
	消費支出(㉑+㉒+㉓+㉔-㉕-㉖-㉗)					

参考 ㉑の前年の年間手取り収入(税引後)

(注) 年間手取り収入とは、就業に伴う収入、年金、不動産賃貸収入、利息収入等の税引後収入。

問17 お宅では、過去1年間の消費支出をその前年と比べて増やしましたか、あるいは減らしましたか。(〇は1つ)

1. 消費支出を増やした。
→ 続けて問18にもお答えください。
2. 消費支出を変えていない。
→ 問20にお進みください。
3. 消費支出を減らした。
→ 続けて問19にもお答えください。

問18 問17で、「1. 消費支出を増やした」に〇印をつけたお宅では、どのような項目の消費支出を増やしましたか。(〇は3つまで)

1. 食料費
2. 住居費(家賃、光熱・水道費は含め、土地・住宅購入費は除く)
3. 被服費(身の回り品を含む)
4. 耐久消費財(自動車、家具、家電等)購入費
5. 交通・通信費(自動車購入費は除く)
6. 教育費
7. 保健・医療費(美容関係を含む)
8. 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

問19 問17で、「3. 消費支出を減らした」に〇印をつけたお宅では、どのような項目の消費支出を減らしましたか。(〇は3つまで)

1. 食料費
2. 住居費(家賃、光熱・水道費は含め、土地・住宅購入費は除く)
3. 被服費(身の回り品を含む)
4. 耐久消費財(自動車、家具、家電等)購入費
5. 交通・通信費(自動車購入費は除く)
6. 教育費
7. 保健・医療費(美容関係を含む)
8. 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

問20 お宅では、今後1年間の消費支出を過去1年間のそれと比べて増やしますか、あるいは減らしますか。(〇は1つ)

1. 消費支出を増やす。
→ 続けて問21にもお答えください。
2. 消費支出を変えない。
→ 問23にお進みください。
3. 消費支出を減らす。
→ 続けて問22にもお答えください。

問21 問20で、「1. 消費支出を増やす」に〇印をつけたお宅では、どのような項目の消費支出を増やしますか。(〇は3つまで)

1. 食料費
2. 住居費(家賃、光熱・水道費は含め、土地・住宅購入費は除く)
3. 被服費(身の回り品を含む)
4. 耐久消費財(自動車、家具、家電等)購入費
5. 交通・通信費(自動車購入費は除く)
6. 教育費
7. 保健・医療費(美容関係を含む)
8. 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

問22 問20で、「2. 消費支出を減らす」に〇印をつけたお宅では、どのような項目の消費支出を減らしますか。(〇は3つまで)

1. 食料費
2. 住居費(家賃、光熱・水道費は含め、土地・住宅購入費は除く)
3. 被服費(身の回り品を含む)
4. 耐久消費財(自動車、家具、家電等)購入費
5. 交通・通信費(自動車購入費は除く)
6. 教育費
7. 保健・医療費(美容関係を含む)
8. 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

問23 お宅では、㉑過去1年間の消費支出の中で何を重視しましたか。

また、㉒今後1年間は何を重視していきたいとお考えですか。

次のうちから3つ選び、それぞれ下表の該当する番号に〇印をつけてください。

1. 健康・美容の維持(スポーツ、人間ドック、フィットネスセンター、エステティックなど)
2. 教養・文化生活的の充実(美術展、コンサート、演劇、映画、ビデオ、カルチャーセンターなど)
3. 国内旅行(ドライブも含む)
4. 海外旅行
5. 高級アクセサリ等身の回り品の購入
6. グルメ
7. こどもの教育の充実(塾、家庭教師など)
8. 居住環境の改善(住宅リフォームなど)
9. 自動車、家電製品等耐久消費財の購入
10. ゴルフ・リゾート会員権の購入

(〇はそれぞれ3つ)

㉑過去1年間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
㉒今後1年間										

問24 お宅では、最近の消費生活や消費スタイルについて、どのように感じられていますか。(〇はいくつでも)

1. 以前に比べて消費支出に充当できる金額が減ってきている。
2. これまでどおり消費重視の姿勢に変わりはない。
3. 消費の高級化傾向のもと、以前は背伸びをして高額商品を購入したこともあったが、最近では身の丈に合った消費を心掛けている。
4. とくにこれといった物を購入している訳ではないが、必需的でないサービス消費支出(外食、スポーツ、レジャー等)が知らず知らずのうちにかさんでいるようだ。
5. 自動車、家具、家電などの耐久消費財については、ひととおり購入しており、新たに購入する意欲はとりあえず後退している。
6. 自動車、家電などの耐久消費財については、付加価値をつけた新製品が次々と発売されるため、今後も購入(買い替えを含む)していくつもりである。
7. 単なる節約ではなく、価格的に割安感のあるものを追求することにより、これまでの質的な生活水準を落とさずに無駄な出費を抑えている。
8. 節約に努めようとしているものの、収支を締めると、やはり無駄づかいをしていることが多いようだ。

問25 従来の価格水準を大きく下回った価格で商品やサービスを提供する、いわゆる“価格破壊”の現象が話題になっています。(〇はそれぞれ1つ)

- ㉑ お宅では、この言葉を聞いたことがありますか。
1. ある。
→ 続けて㉒、㉓、㉔にもお答えください。
 2. ない。
→ 問26にお進み下さい。

㉒ 上記1. を選択されたお宅にお尋ねします。日常生活の中で“価格破壊”の現象を実感されたことがありますか。

1. 身近に感じたことがある。
 2. 身近に感じたことはない。
- ㉓ お宅では、“価格破壊”について現在どのようにお考えですか。

1. 以前よりも安く商品などを購入できるので、歓迎している。
2. もっと価格を下げるができると思うので、現状には不満が残る。
3. 企業の収益を圧迫し、結果的には家計の収入や雇用などに悪影響を及ぼすおそれがあるので、歓迎しない。

㉔ また、“価格破壊”の現象は今後、どのようになるとお考えですか。

1. 今後さらに広まっていくと思う。
2. 今程度にとどまると思う。
3. 今後、後退すると思う。

問26 お宅の家計では、現在、借入金（月賦払いの未払金やリボルビング方式[※]の借入による未払金は対象に含め、1～2か月後に決済するクレジットカード利用・ツケ買いによる未払金は除く）はありますか。（○は1つ）
 (注) リボルビング方式とは、あらかじめ設定した借入金額の利用限度枠内であれば何回でも利用でき、最初に決めた一定額を毎月、返済する借入方式のこと。

1. 借入金がある。→ 続けて問27、問28、問29にもお答えください。
 2. 借入金がない。→ 問30にお進みください。

問27 現在借入金があるお宅にお尋ねします。現在の借入金残高と借入先別内訳をそれぞれ下表にご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円
現在の借入金残高合計					
うち 公的金融機関〈注1〉					
民間金融機関〈注2〉					
販売会社、クレジット会社等					
貸金業者（消費者金融会社、質屋）					
勤務先					
親類、知人					
その他					

〈注1〉住宅金融公庫、年金住宅福祉協会、国民金融公庫、郵便局等。

〈注2〉銀行、信金、信組、労金、農・漁協、保険会社、住宅金融専門会社等。

また、現在の借入金残高合計のうち、住宅ローン残高およびフリーローン[※]残高をそれぞれ下表にご記入ください。

(注) フリーローンとは、借入金の資金使途が特定されていないローン（カードローンを含む）。

	億	千万	百万	十万	万円
現在の借入金残高合計					
うち 住宅ローン残高					
フリーローン残高					

上記の合計の金額と一致

問28 現在借入金があるお宅にお尋ねします。お宅では、どのような目的で借入れを行いましたか。次のうちから3つ以内を選び、該当する番号に○印をつけてください。

また、そのうちフリーローンによるものについては◎印をつけてください。（○は3つまで）

1. 医療費や災害復旧資金にあてるため。
2. こどもの教育資金にあてるため。
3. こどもの結婚資金にあてるため。
4. 住宅（土地を含む）の取得または増改築などの資金にあてるため。
5. 日常生活資金にあてるため。
6. 耐久消費財（自動車、家具、家電等）の購入資金にあてるため。
7. 旅行、レジャーの資金にあてるため。
8. 株式等金融資産への投資資金にあてるため。
9. 土地・建物（マイホームは除く）等の実物資産への投資資金にあてるため。
10. 相続税対策の資金にあてるため。
11. その他

問29 現在、住宅ローン借入残高のあるお宅にお尋ねします。過去1年に、お宅では、住宅ローンに関して何か見直しを行いましたか。（○はいくつでも）

1. 貯蓄を取り崩して繰上げ返済（全額・一部）を行った。
2. 変動金利型から固定金利型への借り換えを行った。
3. 固定金利型から変動金利型に借り換えを行った。
4. 固定金利型の中で、より低利のものへ借り換えを行った。
5. とくに何もしなかった。

問30 お宅では、生活感覚として“経済的な豊かさ”を実感されていますか。（○は1つ）

1. どちらかと言えば、経済的な豊かさを実感している。

→ 続けて②にお答えください。

2. どちらかと言えば、経済的な豊かさを実感していない。

→ 続けて③にお答えください。

② 上記1.を選択されたお宅では、“経済的な豊かさ”をどのようなことで実感されましたか。

③ 上記2.を選択されたお宅では、どのようなことが実現すれば“経済的な豊かさ”を実感できると思われますか。

次のうちから3つ以内を選び、それぞれ下表の該当する番号に○印をつけてください。

1. マイホームの取得
2. マイホーム以外の実物資産（土地、建物、別荘等）の取得
3. ある程度の額の美術品、貴金属等の保有
4. ある程度の額の金融資産の保有
5. ある程度の額の年収の実現
6. 高級耐久消費財（自動車、家具、家電等）の保有
7. ゴルフ会員権の保有
8. スポーツ・レジャー関連消費の充実
9. ある程度自由に使える時間の実現
10. 教育の充実（高学歴、専門知識の獲得等）
11. その他

（○はそれぞれ3つまで）

②経済的な豊かさを実感している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
③経済的な豊かさを実感していない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

問31 お宅では、②現在、および③先行き1年後の暮らし向きについてどのようにお考えですか。また、その理由についてもそれぞれお答えください。

（○はそれぞれ1つ）

② 現在

1. 現在の暮らし向き全般については、1年前に比べて良くなっている。

- 1. 物価が低下したから。
2. 所得が増加したから。
3. その他

2. 現在の暮らし向き全般については、1年前に比べて悪くなっている。

- 1. 物価が上昇したから。
2. 所得が減少したから。
3. その他

3. どちらともいえない。

③ 先行き1年後

1. 先行き1年後の暮らし向き全般については、現在よりも良くなっていると思われる。

- 1. 物価が低下すると思うから。
2. 所得が増加すると思うから。
3. その他

2. 先行き1年後の暮らし向き全般については、現在よりも悪くなっていると思われる。

- 1. 物価が上昇すると思うから。
2. 所得が減少すると思うから。
3. その他

3. どちらともいえない。

問32 生活意識に関する以下の2組の対照的な考え方A、Bについて、お宅では、どちらの考え方に近いと判断されますか。（○はそれぞれ1つ）

1. A：将来のことを考えて計画的に貯蓄し、生活していくべきである。
B：将来のことをあれこれ心配するよりも、現在の生活を楽しく過ごすべきである。

2. A：公的年金だけでは頼れないので、老後に備えて貯蓄を増やす必要がある。
B：公的年金があるので、老後に備えてとくに貯蓄を増やす必要はない。

	Aに近い	どちらとも言えない	Bに近い
1. の意見			
2. の意見			

問33 家計簿の記帳についてお尋ねします。
(○はそれぞれ1つ)

- ① お宅では、家計簿をおつけになっていますか。
1. つけている。 → 問34にお進みください。
2. ときどきつけている。
3. つけていない。 → 続けて①にもお答えください。

- ② 上記3. を選択されたお宅にお尋ねします。次のうち該当する番号に○印をつけてください。
1. 以前はつけていたが、今はつけていない。
2. これまでに全くつけたことがない。

問34 お宅では、①将来のことを考えて生活設計を立てていますか。

また、①生活設計を立てているお宅では、何年くらい先まで考えて生活設計を立てていますか。該当する番号に○印をつけてください。

- ① 生活設計を立てている。 → ①
1. 1～2年先まで
2. 3～5年先まで
3. 10年先まで
4. 20年先まで
5. 20年以上先まで
- ② 現在生活設計を立てていないが、今後は立てるつもりである。 → 問35、問36にお答えください。
③ 現在生活設計を立てていないし、今後も立てるつもりはない。 → 問37にお進みください。

問35 問34で「1. 生活設計を立てている」に○印をつけたお宅にお尋ねします。

- お宅では、生活設計を考えるにあたっては、何を重視されますか。(○は2つまで)
1. 生活に計画を持ち、はじめのある生活をする
2. 住宅(土地を含む)の取得または増改築などの資金
3. 老後の生活資金
4. こどもの教育資金
5. こどもの結婚資金
6. 耐久消費財(自動車、家具、家電等)の購入資金
7. 旅行、レジャーの資金

問36 問34で「1. 生活設計を立てている」に○印をつけたお宅にお尋ねします。

- お宅では、生活の設計を立てられる際にどのような情報源を活用されていますか。(○はいくつでも)
1. 公的機関の発行する広報紙(誌)等
2. 銀行、郵便局、保険会社、証券会社などや業界団体の資料
3. 新聞、雑誌等
4. テレビ、ラジオ等
5. 消費生活センターなどの相談窓口
6. 各種セミナー
7. 職場の研修等
8. その他

問37 生活設計を立てていないお宅にお尋ねします。お宅において生活設計を立てない理由、あるいは立てるうえでの問題点としてお感じになっていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 自分たちが、将来何をしたいのかが定まらない。
2. 将来のことで、今から思い悩みたくない。
3. 将来は、経済環境等が大きく変わり得るので、今から計画を立てても意味がない。
4. 生活設計を立てなくても、その場その場でなんとかなる。
5. 生活設計を立ててみたいが、将来の収入や費用など生活設計のための具体的な条件がわからない。
6. その他

問38 お宅では、現在どのような住居にお住まいですか。(○は1つ)

1. ご自身が購入した家屋・マンション
2. 相続または贈与を受けた持家 → 問41または問44にお進みください。
3. 同居している親または親族の家
4. 民間の賃貸マンション・アパート、借家
5. 公団・公営の賃貸アパート
6. 官舎、社宅
7. 間借、その他 → 続けて問39、問40にもお答えください。

問39 マイホームを取得していないお宅にお尋ねします。お宅では、世帯主の方が何歳くらいの時にマイホームを取得する予定ですか。(○は1つ)

1. 20歳代
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60歳以上
6. 親からの相続等によるので、いつになるかわからない。
7. マイホームの取得については目下のところ考えていない。
8. 将来にわたりマイホームを取得する考えはない。

問40 近くマイホームを取得する予定があるお宅にお尋ねします。

お宅がマイホームを取得するのに必要な資金の総額はどのくらいですか。また、その資金をどのように調達する予定ですか。

それぞれについて下表に金額をご記入ください。なお、買い換えの場合は、新・旧物件の価格差ではなく、新規取得物件の方の総額をご記入ください。

		億	千万	百万	十万	万円
必要資金総額						
うち 自己資金						
借入金						

問41 世帯主の年齢が満60歳未満のお宅にお尋ねします。お宅では、老後の生活費として、毎月最低どのくらい必要と思いますか(現在の物価水準を基準にお答えください)。

百万 十万 万円

また、老後の暮らしについて、経済面でどのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 全く心配していない。
2. それほど心配していない。 → 続けて問42にお答えください。
3. 多少心配である。
4. 非常に心配である。 → 続けて問43にお答えください。

問42 世帯主の年齢が満60歳未満のお宅にお尋ねします。問41で、「1. 全く心配していない」、「2. それほど心配していない」に○印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1. 十分な貯蓄があるから。
2. 退職一時金があるから。
3. 年金(公的年金、企業年金、個人年金)や保険があるから。
4. 生活の見通しが立たないほど物価が上昇するとは考えられないから。
5. 十分な貯蓄はないが、老後に備えて着々と準備(貯蓄など)しているから。
6. 再就職により収入が得られる見込みがあるから。
7. 不動産収入(家賃、地代等)が見込めるから。
8. こどもなどからの援助が期待できるから。
9. 親などからの遺産が見込まれるから。
10. その他

問43 世帯主の年齢が満60歳未満のお宅にお尋ねします。問41で、「3. 多少心配である」、「4. 非常に心配である」に○印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1. 十分な貯蓄がないから。
2. 退職一時金が十分ではないから。
3. 年金(公的年金、企業年金、個人年金)や保険が十分ではないから。
4. 生活の見通しが立たないほど物価が上昇することがあり得ると考えられるから。
5. 現在の生活にゆとりがなく、老後に備えて準備(貯蓄など)していないから。
6. 再就職により収入が得られる見込みがないから。
7. 家賃の上昇により生活が苦しくなると見込まれるから。
8. マイホームを取得できる見込みがないから。
9. こどもなどからの援助が期待できないから。
10. その他

→ 問46にお進みください。

問44 世帯主の年齢が満60歳以上のお宅にお尋ねします。お宅では、生活費として、毎月最低どのくらい必要ですか。

百万 十万 万円

また、現在の暮らし向きについてどのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 家計にゆとりがあり、全く心配なく暮らしている。
2. 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている。
3. 家計にゆとりがなく、多少心配である。
4. 家計が苦しく、非常に心配である。

問45 世帯主の年齢が満60歳以上のお宅にお尋ねします。現在のお宅の生活費は、どのような収入源に拠っていますか。(○は3つまで)

1. 就業による収入
2. 公的年金
3. 企業年金、個人年金、保険金
4. 貯蓄の取崩し
5. 利子・配当所得
6. 不動産収入(家賃、地代等)
7. こどもなどからの援助
8. 国や市町村などからの公的援助
9. その他

問46 お宅では、老後を豊かに不安なく暮らしていくために必要なことは、どのようなことだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 高齢者に対する雇用機会の確保
2. 公的年金制度の拡充
3. 物価(土地・住宅価格を含む)の安定
4. 老人医療制度(老人病院、定期健康診断等)の拡充
5. 公的・私的老人介護施設やサービス(老人ホーム、ホームヘルパー等)の拡充
6. 身体が不自由な人のための各種設備(車いす用通路、非常用通報システム等)の整備
7. 地域住民のふれあいや交流の場の確保
8. その他

問47 最近、高齢者の介護問題が話題になっています。ご自身あるいはご家族の問題として、以下の設問にお答えください。

㊦ お宅では、この問題に関心がありますか。
(○は1つ)

1. 関心がある。→ [続けて㊦にもお答えください。]
2. 関心がない。→ [問48にお進みください。]

㊦ 上記1. を選択されたお宅にお尋ねします。お宅では、貯蓄以外に特別な準備をしていますか。

(○は2つまで)

1. 介護費用のための保険に加入するなどして、準備している。
2. ホームヘルパー、入浴・給食サービス、受入施設などに関する情報を集めている。
3. 準備しようにも、どうしてよいかわからない。
4. とくに何もしていない。

問48 お宅では、お子さんに渡しているこづかいは、月平均で1人当たりどのくらいの金額ですか。

学齢区分ごとに下表に金額をご記入ください。

	十	万	千	百	十	円
小学生(1・2年)						
小学生(3・4年)						
小学生(5・6年)						
中学生						
高校生						

問49 お宅の世帯員としてのご家族は自分も含めて何人ですか。
(○は1つ)

1. 2人
2. 3人
3. 4人
4. 5人
5. 6人
6. 7人以上

問50 お宅の世帯主の方は満年齢で何歳ですか。
(○は1つ)

1. 20歳代
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60～64歳
6. 65～69歳
7. 70歳以上

問51 お宅の世帯主の方のご職業は次のうちどれにあたりますか。
(○は1つ)

1. 農・林・漁業者
2. 自営商・工・サービス業主
3. 事務系職員
4. 労務系職員
5. 管理職
6. 自由業
7. その他

問52 お宅のご家族の就業状況は次のうちどれにあたりますか。
(○は1つ)

1. 世帯主およびその家族ともに働いていない。
2. 世帯主のみが働いている。
3. 世帯主とその配偶者が働いている。
4. その他